

ID 1013438

男女共同参画セミナー

人生の時間割

～「自分」を自分らしく生きる!～

今の私
これからの私
「自分らしく生きる」ために、
人生の時間割を
見直してみませんか？

独身の私
仕事をしている私
結婚してからの私
子育て中の私
パートナーと共に生きる私…

コーディネーター
日置雅子さん
(愛知県立大学名誉教授)

12月7日(土) 午後 1時30分～ 3時30分
本庁舎14階1401大会議室

対象

市内在住・在勤・在学の18歳以上の方

内容

ワークシートでの自己分析と意見交換

申し込み

11月29日(金)までに電話・電子申請、または住所・参加者全員の氏名(ふりがな)・電話番号を記入し「セミナー」と明記の上、ファクス(FAX)(73)9128) ※託児あり(先着6人)

先着40人



【問】政策課 ☎(28)8952

脳活サイクルくらぶ 3カ月コース

ID 1026498

参加者を募集

エアロバイクをこぎながら、タッチパネルで認知機能向上の簡単な問題を解いていく「コグニバイク」で、運動をしながら認知症予防をしませんか。

日時

- ①12月12日～令和2年3月12日の木・土曜日
 - ②12月13日～令和2年3月11日の水・金曜日
- 午前9時～午後4時30分の20分程度

会場

木曽川いこいの広場

抽選52人

対象

市内在住の60歳以上で、公共交通機関などで来場できる方(脳活サイクルくらぶ経験者を除く)

申し込み

11月25日(月)までに電話で高年福祉課



【問】高年福祉課 ☎(28)9151

冬休み期間限定の 児童クラブ

利用申し込みを受け付け

保護者が仕事などで不在になる小学1～6年生を対象に、児童クラブの利用申し込みを受け付けます。

開所日と開所時間

冬休み期間中の月～土曜日

午前7時30分～午後7時

(12月29日(日)～令和2年1月3日(金)を除く)

受付期間11月20日(水)～30日(土)

児童館

月～土曜日の

午前9時30分～午後5時30分

児童クラブ

月～土曜日の

午後2時～5時30分

(土曜日閉所の場合あり)

※申込書は11月13日(水)から児童クラブで配布。募集施設は、受付期間にお知らせ。通年利用を申し込み済みで、入所保留の方へは別途案内

申し込み方法など詳しくは、

ID 1016842 をご確認ください

【問】子育て支援課 ☎(28)9022

火災にご注意を!

11月9日～15日に「秋の火災予防運動」

本格的な寒さを迎えるに当たり、火を使う機会が多くなります。火災を出さないよう、気を付けましょう。

消防総合訓練

11月14日(木) 午前9時40分 大和南小学校

児童防火作品・消防自動車写生大会の作品を展示

10月25日(金)～11月6日(水) 木曽川庁舎 1階
 11月8日(金)～19日(火) 尾西図書館
 11月21日(木)～12月5日(木) **i**-ビル 5階中央図書館

空き地などの枯れ草は危険

放置された枯れ草は小さな火種でも簡単に火が付き、大きな火災になります。

土地の所有者・管理者は枯れ草を刈り取り、処分するか土砂などで埋めて、空き地の適正な管理を行いましょう。

【問】 消防本部予防課 ☎(72) 1280



いざという時のために適切な119番通報を

ID 1000607

不適切な通報が増えると、いざというときに緊急車両が出動できず、生命に関わる事態が起こりかねません。119番通報の適正な利用をお願いします。



【問】 消防本部通信指令課 ☎(72) 1191

消防音楽隊

ID 1010047

定期演奏会

11月10日(日) 午後1時30分(1時開場)
 一宮市民会館 ※満員の場合は入場制限あり



今年のテーマは
「熱闘!! アルプス甲子園」

ゲスト
立浪和義さん
 (中日ドラゴンズOB)

曲 目

「クセルクセス」「アンダートゥ」
 「タービン」「かっせー! パワプロ」
 「ニュー・サウンズ・イン・プラス」
 野球応援メドレー」 ほか

【問】 消防本部総務課 ☎(72) 1194

i-ビル開館 7周年記念イベント

ID 1031196

i-ビル内施設 & センター大集合! 7

11月3日(祝) 午前10時～午後4時



パトカー・白バイの展示



いちびよんと
 じゃんけん合戦

□リサイクル図書の配布
 □各施設パネル展示 ほか

【問】 商工観光課 ☎(28)9130



子ども読書のまち宣言 啓発ポスター 優秀作品が決定

【問】中央図書館 ☎(72)2343

ID 1031233

小中学生から1,069点の応募があり、次の皆さんが入賞しました。入賞・入選作品は、10月25日(金)～11月4日(休)に子ども文化広場図書館、11月8日(金)～17日(日)に尾西図書館、11月22日(金)～12月1日(日)に玉堂記念木曾川図書館、12月6日(金)～15日(日)にi-ビル6階中央図書館で展示します。(敬称略)



- ▽市長賞 宮川愛美=写真=(木曾川中2年)
- ▽市議会議長賞 山蘭藍歌(大志小4年)
- ▽市教育委員会賞 松原由奈(神山小2年) 荻巣桃依(木曾川中1年)
- ▽審査委員特別賞 坂井真優(大志小6年) 今井るな(尾西第三中3年)

明るい選挙の啓発ポスター 優秀作品が決定

【問】選挙管理委員会事務局 ☎(28)8958

ID 1031201

小中学生・高校生から募集したところ、776点の応募があり、次の皆さんが最優秀賞に決まりました。最優秀賞・優秀賞・入選の作品は、11月12日(火)～18日(月)にエコハウス138、11月22日(金)～28日(木)に尾西図書館、12月5日(木)



～12日(木)に玉堂記念木曾川図書館、最優秀賞・優秀賞の作品は、10月19日(土)～28日(月)にスポーツ文化センター、10月31日(木)～11月7日(木)にi-ビル5階中央図書館、令和2年2月23日(日)に木曾川庁舎で展示します。(敬称略)

- ▽最優秀賞 岩田結菜(瀬部小1年) 加藤友理(末広小2年) 森一喜(三条小3年) 宇佐見紗奈(小信中島小4年) 原百花(北方小5年) 柳田莉奈(今伊勢小6年) 岡田楓乃(西成中1年) 奥山ひより(南部中2年) 原琴乃=写真=(今伊勢中3年) 横田瞳(起工業高2年)

平和を考える作文 優秀作品が決定

【問】福祉課 ☎(28)9015

ID 1031122

小中学生から1,115点の応募があり、次の皆さんが入賞しました。(敬称略)

- ▽特選 夫馬早乃花(浅野小6年) 樋田莉子(今伊勢中3年)
- ▽入選 中彩音(今伊勢西小6年) 野村亮元(末広小6年) 洞口実聖(北方小6年) 高橋理奈(大和中3年) 土井結友(尾西第一中3年) 中川日陽(北部中3年)

いじめ・非行・万引き・暴走行為 防止ポスター 優秀作品が決定

【問】青少年センター ☎(84)0003

ID 1016545

小中学生から2,278点の応募があり、次の皆さんが入賞しました。(敬称略)



- ▽市長賞 平ひなた=写真=(木曾川中1年)
- ▽市議会議長賞 平松理愛菜(中島小1年)
- ▽市教育委員会賞 堀江真由(向山小4年) 今井陽茉理(尾西第二中2年)
- ▽一宮警察署長賞 河村佳奈(神山小4年)

児童虐待のない社会を目指しましょう

【問】子育て支援課子ども家庭相談室 ☎(28)9141

ID 1001364

虐待を防止するには

親が児童虐待に及ぶ背景には、さまざまな要因があります。困難や悩みを抱えた親への、地域の方の理解や援助が児童虐待の防止につながります。

子育ての悩みは気軽にご相談ください(26号参照)。市内の保育園でも相談を受け付けます。

「虐待?」と思ったら通報を

虐待の疑いがある場合は子育て支援課子ども家庭相談室、県一宮児童相談センター(☎(45)1558)または児童相談所全国共通ダイヤル(☎189)へ、至急ご連絡ください。相談内容や情報源の秘密は守られます。

本庁舎・木曽川庁舎の 学習室のご利用を

【問】 青少年育成課 ☎(84)0017

ID 1017571

日 時／11月16日～24日の土・日曜日、祝日
午前9時～午後5時

対 象／市内在住・在学の中学・高校生（生徒
手帳を持参）

やめよう放置自転車

【問】 交通政策課 ☎(28)8955

ID 1016542

放置自転車は、駅・バス停周辺、商店街で歩行者などの通行を遮ったり、街の美観を損ねたりしています。周辺住民の方にも大変な迷惑を掛けています。駐輪場や預かり所を利用しましょう。



一宮駅周辺は終日放置禁止

一宮駅周辺は、自転車・原動機付自転車（50cc以下）の放置禁止区域に指定されています。この区域に自転車などを放置すると撤去され、返還には次の手数料が必要です。

▽自転車 = 1,000円

▽バイク（50cc以下） = 2,000円

SOHOインキュベータオフィス 入居者を募集

【問】 商工観光課 ☎(28)9130

ID 1012483 応募用紙ダウンロード可

対 象／ITを活用した業種などで、今後創業するか創業後3年を経過していない方



募集内容／i-ビル 6階ビジネス支援センター内の①1部屋（約6㎡）②1部屋（約9㎡）（共同商談室・作業室あり。原則24時間使用可）

入居期間／1年（再審査で継続あり）

賃 料／①月15,000円②月20,000円（光熱水費込み）

選考方法／書類審査・面接

申し込み／11月1日（金）～29日（金）（必着）に応募用紙を持参または郵送

愛知万博メモリアル

愛知県市町村対抗駅伝競走大会

市代表候補選手が決定

【問】 スポーツ課 ☎(85)7078

ID 1031231

代表候補選手が次の皆さんに決まりました。大会は12月7日（土）に愛・地球博記念公園（長久手市）で開催されます。



（敬称略）

- ▽小学生男子 松本正悟 神藏奏心
- ▽小学生女子 岩田留依 中田朱音
- ▽中学生男子 豊田雄大 國居寛大
- ▽中学生女子 石田莉子 入山ひなの
- ▽ジュニア男子 柏木那央 鷺飼雄矢
- ▽ジュニア女子 小田木陽和 坂川恋露
- ▽一般男子 鷺飼涼矢 川島颯太
- ▽一般女子 坂川真由美 浅井瑞貴
- ▽40歳以上 榎木伴成 村瀬正則
- ▽監督 大竹幹雄
- ▽コーチ 八代政彦

市民活動支援センター 運營業務受託者を募集

【問】 市民活動支援センター ☎(23)8883

令和2年4月から3年間、i-ビル3階にある市民活動支援センターの運營業務を行う法人・団体を募集します。応募方法など詳しくは、ID1031017をご確認ください。

公募説明会を開催

日 時／11月27日（水）午後2時～4時

会 場／i-ビル3階市民活動支援センター

市有地を入札で売り払い

【問】 管財課 ☎(28)8961

ID 1016605

入札日時／11月28日（木）午前10時

入札会場／本庁舎5階504会議室

内 容／宅地483.78㎡（北今字再鳥三10番1、市街化調整区域・線引き前宅地、宅地利用の土地利用条件付き）

申し込み／11月1日（金）～26日（火）に、本庁舎管財課（土・日曜日、祝休日を除く）。必要書類など詳しくは、お尋ねください。

介護予防川柳 入選作品が決定

【問】 高年福祉課 ☎(28)9151

ID 1021394

「転ばぬ先の健脚のススメ」をテーマに募集したところ、全国から1,025点の応募がありました。主な入選作品は次のとおりです。（敬称略）

最優秀賞

▽歩く距離 伸ばして延びる 我が寿命
武藤哲（東京都調布市）

優秀賞

▽よく歩き 転ばぬ先に 長寿あり
今泉瑞穂（大阪府枚方市）

▽覚悟決め 免許返納 歩き旅
小山文夫（あずら2丁目）

▽会話して 歩く夫婦の 長寿道
大熊和也（福岡県うきは市）

市民税が非課税の方へ

プレミアム付商品券の引換券 交付申請は11月30日までに

【問】 商工観光課 ☎(28)9130

ID 1028999

非課税者向けのプレミアム付商品券引換券の交付申請期限は11月30日(土)です。申請期限後は受け付けできませんので、交付を希望する方は忘れずに申請してください。申請方法など詳しくは、専用ウェブサイト（<https://ichinomiya-shouhinken.com>）を確認、または商品券利用者向けコールセンターにお尋ねください。

プレミアム付商品券事業
専用ウェブサイト



商品券利用者向けコールセンター

☎ 052(380)7033

(月～金曜日の午前9時～午後5時。祝休日を除く)

弁護士による 多重債務無料相談会

【問】 商工観光課 ☎(28)9148

ID 1021160

日時／11月21日(木) 午前9時～午後4時

会場／本庁舎商工観光課

対象／市内在住の方

定員／8人（先着。1人40分）

申し込み／11月1日(金)～19日(火)に電話で商工観光課

介護保険地域密着型サービス 事業者を募集

【問】 介護保険課 ☎(85)7017

ID 1030961 応募書類ダウンロード可

対象／看護小規模多機能型居宅介護を提供できる事業者

申し込み／11月1日(金)～12月20日(金)に、応募書類を本庁舎介護保険課。応募書類は介護保険課でも配布

介護付有料老人ホーム 整備事業者を募集

【問】 介護保険課 ☎(85)7017

ID 1030988 応募書類ダウンロード可

対象／介護付有料老人ホーム（混合型特定施設入居者生活介護）を整備し、サービスを提供できる事業者

申し込み／11月1日(金)～12月20日(金)に、応募書類を本庁舎介護保険課。応募書類は介護保険課でも配布

国民年金保険料の 控除証明書を送付

【問】 保険年金課 ☎(28)9014

ID 1000830

年末調整や確定申告などで国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合、納付額を証明する書類が必要です。日本年金機構では、国民年金保険料の納付額を証明する控除証明書のハガキを11月上旬に送付します。10月以降に保険料を納付し始めた方には、令和2年2月上旬に送付します。詳しくは、一宮年金事務所（☎(45)1418）へお尋ねください。

国民年金付加年金のご利用を

【問】 保険年金課 ☎(28)9014

ID 1000849

付加年金は、国民年金保険料を自分で納めている第1号被保険者が、月額400円を上乗せし、年金受給額を増やすことができる制度です（国民年金基金加入者を除く）。納付した月数に200円を掛けた金額が、老齢基礎年金に加算されます。

申し込み／認め印・年金手帳・本人確認書類を持参の上、本庁舎保険年金課、尾西庁舎窓口課、木曾川庁舎総務窓口課、出張所



一宮市は、市制施行100周年を迎える2021(令和3)年4月の中核市移行を目指しています。中核市に関するいろいろな情報を紹介します。

第5回 中核市のメリット(2)

市民の皆さんへの間接的な影響として、まちづくり全体に関わる下記のようなメリットが挙げられます。

特色あるまちづくりの推進

▶市独自の基準が制定可能になるなど、より広い分野で地域の実情に合わせたまちづくりが進められるようになります。

例えば…

飲食店の
衛生管理基準



屋外広告物の
許可基準



保育所、特別養護老人ホームの
設備・運営基準



小中学校の
教職員研修



都市としてのイメージアップ

▶尾張地域の拠点都市として、市の存在感や知名度が上がり、観光面での誘客や企業誘致の活性化などの効果が期待できます。



【問】中核市移行推進課 ☎(85)7003

地域づくり協議会 活動だより 56

～起連区編～

起連区地域づくり協議会が発足して、今年度で7年目を迎えました。災害時に備えての防災訓練や、安心・安全な地域づくりを目指し、活動を続けています。

今年度は、起小学校のご協力により、従来から設置してあった消防器具庫の横に、新たに起連区の防災倉庫を設置しました。この防災倉庫には、地域で確保しておきたい備品を収納し、いざというときに起連区独自の判断で使用できる防災用品を収納するスペースを確保しました。今回は必要最低限の購入でしたが、順次、資機材を拡充していきます。連区の防災訓練などで地域住民の皆さんに、これらの資機材の使用方法を習熟してもらい、地域の防災意識を高めていきたいと思えます。

5月には「木曾川ウォーキング大会」を開催しました。従来は子ども会の主催で行っていましたが、今回は、幼児から高齢者までの三世代が参加できるウォーキング大会として計画し、学校外活動推進委員会の主催、公民館魅力部・体育レクリエーション部の協賛により開催しました。爽やかな風が吹き、ウグイスの鳴き声が聞こえる河川敷遊歩道のウォーキングには、総勢220人が参加し、事故もなく盛況のうちに終わることができました。



◀新たに設置した
防災倉庫

【問】市民協働課 ☎(28)8954

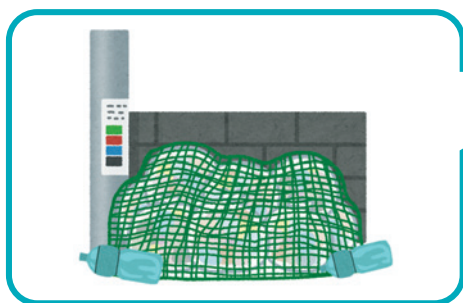
環境センター ニュース

みんなで意識して きれいなごみ集積場所を

皆様のご協力をお願いします

ごみ集積場所をきれいに維持することで、気持ちよく使用することができます。

ルールを守ってごみを出し、カラスやネコによる生ごみ荒らしを防ぎましょう。



【問】環境センター ☎(45)7004

カラス・ネコによる

生ごみ荒らしの対策のポイント

- ▶ **ごみ出しは、指定された収集日の当日、午前8時30分までに**
前日の夜間にごみ出しを行うと、ごみの散乱被害を受けやすくなります。
- ▶ **カラス除けネットには重しで押さえを**
ペットボトルに水を入れて、ネットの裾に縛るのがおすすめです。重しができない場合は、ごみ袋をネットで包み込むようにしましょう。
- ▶ **カラス除けネットは低い位置に固定を**
ネットを上の方で固定すると、前方を重しで押さえても、後ろと横に隙間ができてしまいます。

いちのみや あれこれ

～萩原遺跡群と佐藤一英^{いちえい}～

名神高速道路などの開発工事が盛んに行われていた1960（昭和35）年ごろ、市内各地で遺跡の発掘調査が行われていました。中でも萩原町周辺の地域は、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が多く発掘され「萩原遺跡群」と称されました。その中の一つ、尾張病院山中遺跡（萩原町富田方、大和町荻安賀）からはパレススタイル土器が多数出土し、研究上大きな意義を与えました。写真は、萩原町出身の詩人・佐藤一英と、新編一宮市史の編さんに携わった名古屋大学の考古学者・澄田正一が、出土した土器を観察しているときのものです。

一英は、尾張地方を含む北緯35度線周辺の温帯性照葉樹林帯で、古くから檜^{ひのき}の木を利用した農耕文化が築かれてきたとする「檜の木

文化論」を唱えました。昔の人々の暮らしに関心があった一英は、澄田が行っていた九合洞窟遺跡（岐阜県山県市）の発掘現場を訪れ、その様子をスケッチするとともに8編の四行詩を作っています。澄田も一英の伊勢灣や尾張地方を中心とした文化論に関心を寄せていました。

1962（昭和37）年には、南木戸遺跡（萩原町河田方）からスギヤカシなどでできた木製品が多く出土し、一英は檜の木を中心とした詩的世界をさらに広げました。



▲土器を観察する佐藤一英（左端）と澄田正一（右端）

【問】博物館 ☎(46)3215